

ちょっと よみちライブ

令和6年(2024年)度 前期

お仕事帰りのひとときを、無料ライブでお楽しみください。

会場 きららホール TEL 047-423-7261

(船橋市民文化創造館) 船橋市本町1-3-1 フェイスビル6階
JR・東武船橋駅南口、京成船橋駅徒歩2分

開場 18:00 入場無料 定員250名
開演 18:30(約45分)

vol.226 令和6年4月18日(木)
フルート・アンサンブルの愉悅
～3人寄れば文殊の笛～

ドライフルーツ

岩瀬 豪 (フルート)
金子 浩幸 (フルート)
和田 信吾 (フルート)

vol.227 令和6年5月16日(木)
ソプラノとピアノで紡ぐ華やかな夕べ
～オペラの名曲と日本歌曲～

藤井 冴 (ソプラノ)
鶴田 恵利花 (ピアノ)

vol.228 令和6年6月20日(木)
キミとネコンサート
～民族音楽からクラシックまで～

キミとネ

小針 彩葉 (マリンバ、スティールパン 他)
武田 耕平 (ケーナ、サンボーニャ、ギター 他)

【サポートゲスト】
岡部 量平 (パーカッション)

※都合により出演者が変わる場合がございます。

主催 きららHall 船橋市民文化創造館

vol.226 令和6年4月18日(木)

フルート・アンサンブルの愉悅 ～3人寄れば文殊の笛～



ドライフルーツ

2016年秋、メンバーのご家族から「男性3人でフルート三重奏をやってみたら?」との提案を受け、「女性が多い楽器だけに面白いかも」と始めたアンサンブル。グループ名は「ドライフルーツ=Drei Flutes=3本のフルート」という意味の語呂合わせ(すなわちオヤジギャグ)。

2017年2月の佐倉市民文化ホールのイベント参加を皮切りに、公共施設その他でのロビーコンサートほか、ボランティア演奏などを行う。2022年1月、初の単独自主コンサートを「トーキョーコンサーツ・ラボ」にて開催、同年10月にはNPO 合唱会館での依頼コンサートに出演した。

岩瀬 豪 (フルート)

中学、大学で吹奏楽部に所属、社会人となり数年後にフルートを再開、船橋フィルハーモニー管弦楽団、東京管弦楽倶楽部等を経て、ピアノとのデュオ、フルート三重奏その他のアンサンブル活動、オーケストラほかで活動を続けている。橋本郁夫、西田直孝両氏に師事。

金子 浩幸 (フルート)

船橋市在住。高校の吹奏楽部入部と共にフルートを始めて学生時代は吹奏楽部、卒業後も市民吹奏楽団で活動。その後は各地の市民オーケストラやジャパン・フェスティバル・オーケストラ(JFO)に在籍。JFOでは広島、長崎などでの平和祈念演奏会に加え、ウィーン楽友協会やベルリン・フィルハーモニーでの海外演奏会にも参加している。

和田 信吾 (フルート)

船橋市出身。小学生からフルートを始め、吹奏楽部・吹奏楽団で活動し、市民オーケにも在籍した。自分で始めたフルートアンサンブルで妻・陽子と知り合い、夫婦ユニットでレストラン等でのライブ活動を行う。妻は4年前に他界したが活動は継続中。2年前から始めた「カラオケ伴奏でのリクエスト式ソロライブ」は通算150回以上に、日本吹奏楽指導者協会千葉県部会常任理事。

vol.227 令和6年5月16日(木)

ソプラノとピアノで紡ぐ華やかな夕べ ～オペラの名曲と日本歌曲～

藤井 冴 (ソプラノ)

愛媛県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修士課程及び博士後期課程声楽(オペラ)専攻修了、音楽博士号取得。2014年度「岩谷時子 Foundation for Youth」受賞。よんでん文化振興財団奨学生。大学院アカンサス音楽賞、三菱地所賞音楽部門受賞。愛媛県文化協会奨励賞。第27回市川市新人演奏家コンクール優秀賞。第28回奏楽堂日本歌曲コンクール入選。これまでに《ドン・ジョヴァンニ》ツェルリーナ、《リゴレット》ジルダ、《椿姫》ヴィオレッタ、《ジャンニ・スキッキ》ラウレッタ、《ランメルモールのルチア》ルチア、《ラ・ボエム》ミミ、《こうもり》アデーレをはじめ多くのオペラに出演しており、その他にも様々なコンサートや宗教曲のソリストも務めている。女声アンサンブルグループ「Jソロイスト」メンバー。和光市民合唱団指導者。日本声楽家協会教育センター講師。日本声楽アカデミー会員。



鶴田 恵利花 (ピアノ)

船橋市在住。和歌山県出身。東京藝術大学附属高校、同大学を卒業。同大学院修士課程ピアノ専攻修了。学部卒業時に同声会賞を受賞。2011年～2013年度東京藝術大学大学院ティーチングアシスタント。ペスカーラ音楽院高等課程(イタリア)を修了。カミロ・トーニ国際コンクール(イタリア)第2位。2011年第39回和歌山県新人演奏会にて特別奨励賞受賞。大阪、京都、ルガーノ(スイス)、NY等でリサイタルを開催。また、これまでに藝大フィルハーモニア、ニューヨークシティオペラオーケストラ等と協演。2015年よりピティナ公開録音コンサートに出演、ピティナピアノチャンネル(YouTube)に多数の音源を提供している。2017年よりアーティスト名を「山本恵利花」から「鶴田恵利花」に変更。



vol.228 令和6年6月20日(木)

キミとネコンサート ～民族音楽からクラシックまで～



【サポートゲスト】
岡部 量平
(パーカッション)



キミとネ

2022年4月から活動スタート。会場で出会ったお客様=「キミ」とその空間で生まれた音=「ネ」で、温かくて楽しい音楽を届けたい思いから付けられたバンド名。マルチプレイヤーの2人だからこそ会場ごとに使用する楽器が変わり、毎回違うアレンジ、音楽を楽しめるのが魅力。演奏する曲はカリブ生まれの音楽からアンデス音楽、オリジナル、そしてポピュラーソングまで幅広い。2024年には初のCDアルバムを発売。本公演にはサポートゲストとして岡部量平を加えた3人で賑やかにお届けする。

小針 彩葉 (マリンバ、スティールパン 他)

幼少期よりピアノを始める。中学高校と吹奏楽部に青春を捧げる。洗足学園音楽大学打楽器コースを首席で卒業後、第30回打楽器新人演奏会にて、マリンバ部門第1位、並びにグランプリを受賞。第17回イタリアマリンバコンペティションC部門1位優勝。スティールパンの本場トリニダード・トバゴに渡り現地のバンド「Trinidad All Stars」に参加。コンテストで2度優勝を果たす。めざましテレビ「キラビト」コーナー、テレビ埼玉「ニュース930plus」はじめ、各メディアに出演。現在、日本各地でマリンバ、スティールパン共にコンサートやライブを行う他、芸術鑑賞会や親子コンサートに力を入れている。

武田 耕平 (ケーナ、サンボーニャ、ギター 他)

千葉県出身。10歳の頃アンデスの笛ケーナに出会い、地元のケーナサークルに参加。2006年よりプロの老舗folkloreバンド「グルーポ・カンタティ」のメンバーになり、本格的に演奏をスタート。ケーナの故郷ボリビアに2度足を運び、現地にてテレビ出演やレコーディングも行い、また現地の有名ミュージシャンとのコンサートツアーなども経験。オリジナル曲の作曲、テレビアニメーションやゲーム音楽への参加、様々な楽器とのセッションライブ、学校での芸術鑑賞公演など幅広く活動をしている。ボリビア音楽だけに留まることなく、幅広く活動し、ケーナ、サンボーニャ、チャランゴ、ギターでのサポート活動も行う。

ちょっと よしみちライブ

令和6年(2024年)度 前期

お仕事帰りのひとときを、無料ライブでお楽しみください。

会場 **きららホール** TEL 047-423-7261
(船橋市民文化創造館) 船橋市本町1-3-1 フェイスビル6階
JR・東武船橋駅南口、京成船橋駅徒歩2分

開場 18:00 入場無料 定員250名
開演 18:30(約45分)

vol.229 令和6年7月18日(木)

「うた」と「謡」
～ロックと能の共演～

伊丹谷 良介 (ロック歌手)
松木 千俊 (観世流能楽師)

8月のちょっとよしみちライブの開催はございません。

vol.230 令和6年9月19日(木)

Bistro Manoucheによるジブシージャズコンサート
～古き良きフランスのジャズをお届けします～

Bistro Manouche

坪内 佑美 (バイオリン)
山本 大暉 (リードギター)
ニコラ・カレ (リズムギター)

※都合により出演者が変わる場合がございます。

主催 **きららHall** 船橋市民文化創造館

vol.229 令和6年7月18日(木)

「うた」と「謡」
～ロックと能の共演～

イタミヤ リョウスケ
伊丹谷 良介 (ロック歌手)

1973年大阪生まれ。ボーカリスト、アーティスト。宝塚大学(東京メディア芸術学部)講師。芸術大学・大学院を修了後、中国人プロデューサーとの出会いをきっかけに中国での音楽活動を開始。後に北京・香港に移住。1999年外国人ロック・シンガーとしては初の全国ライブツアーを開催。2004年ファースト・ソロアルバム「Hello Mr.Asian」(日本語・中国語版)発売。アジアのトップアーティストらとの共演、コンサート参加、多数のメディア出演を果たす。大学院からの視聴覚芸術の研究でもある「21世紀のアジアのエンターテインメント」[What is ROCK]の論文の執筆活動や、ロック・シンガーとして、国内外にて伝統芸能とのコラボレーションも開催。近年では、松木千俊(能楽師)と共に、渋谷セルリアンタワー能楽堂にて「うた」の公演も成功させる。

公式ホームページ<http://itamiya.net/>



マツキ チトシ
松木 千俊 (観世流能楽師)

重要無形文化財総合指定保持者
一般社団法人松の会代表理事
公益社団法人能楽協会所属
一般社団法人日本能楽会所属
一般社団法人観世会理事

東京藝術大学卒業。3歳で初舞台。平成元年4月独立後、「石橋」「道成寺」「安宅」「卒都婆小町」「翁」など披露。「檀の会」「松年会」「松謡会」を主催。能楽師として舞台を勤める傍ら、一般社団法人松の会の代表として能楽の普及活動に力を入れる。能の魅力を一ひとりで多くの方にご理解頂くため、「身近に能楽を観る・聞く・識る」という能楽の体験を各地で開催。「能楽ワンコイン講座」を船橋市・印西市を始めとする

4か所毎月展開。また、船橋市では「みんなの能楽教室」・「中学校の能楽教室」、千葉県では「身近な能楽講座」も毎年開催している。
公式ホームページ 松の会：観世流 松木千俊 / 松木崇俊 (matsunokai.com)

船橋市民文化ホール 有料公演のお知らせ

8月のちょっとよしみちライブの開催はございません。

vol.230 令和6年9月19日(木)

Bistro Manoucheによるジブシージャズコンサート
～古き良きフランスのジャズをお届けします～



ビストロ マヌーシュ
Bistro Manouche

ツボウチ ユミ
坪内 佑美 (バイオリン)
ヤマモト ダイキ
山本 大暉 (リードギター)
ニコラ・カレ (リズムギター)

1930年代にギタリストのジャンゴ・ラインハルトが始めたジブシージャズをバイオリン、リードギター、リズムギターというアコースティックで伝統的なスタイルで演奏する。曲目は当時演奏されていた音楽に留まらず、モダンジャズ、現代のジブシージャズアーティストが作曲したものなど幅広く演奏する。メンバーは国内外のジャズバイオリニスト、ギタリストに師事し、ジャズの基礎や伝統的なマカフェリギターの技法を習得、各々が海外でのジブシージャズキャンプに参加する経歴を持つ。室内、屋外、フェス等の演奏を通じて、ジブシージャズを聞いたことのない人々にも音楽を届け、それぞれ高い評価を得ている。さらに都内でのセッションへ主体的に参加する他、自ら企画、開催を行い、バンドメンバーだけでなく他のジャズプレイヤーと共ににより良い音楽の構築、自己研鑽に努めている。

ふなばし能「熊坂」

公演日：令和6年9月22日(日)
会場：船橋市民文化ホール

6月発売
予定

全席指定

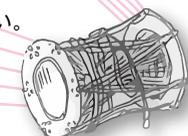


写真撮影：前島吉裕

この公演では、能を初めて鑑賞する方でも分かるように、あらすじと見どころを元NHKアナウンサーの葛西聖司さんが解説します。

また、能の上演前には、江戸時代の能装束の鑑賞、謡等の体験もできますので、この機会にぜひお試しください。

※発売の情報や公演の詳細については、
船橋市民文化ホールのホームページや
チラシで後日ご案内します。



オンラインチケットシステムでのご購入はこちら!

船橋 ホール チケット 検索

<https://piagetii.s2.e-get.jp/fnbsbkhall/pt/>

※チケット代のほか、手数料が必要な場合があります。



松木千俊さんは、9月の船橋市民文化ホールの有料公演にもご出演されます! ぜひご鑑賞ください!